



平成20年12月26日

各 位

会社名 株式会社パイブドビッツ  
代表者名 代表取締役社長 佐谷 宣昭  
(コード番号 3831 東証マザーズ)  
問合せ先 情報取扱責任者 青木 宏実  
(TEL 03-5771-6931)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成20年4月10日に公表した平成21年2月期（平成20年3月1日～平成21年2月28日）の業績予想を、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 平成21年2月期業績予想数値の修正（平成20年3月1日～平成21年2月28日）

(金額の単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
					円 銭
前回発表予想 (A)	1,070	251	252	147	8,983.13
今回修正予想 (B)	1,030	230	231	136	8,310.93
増減額 (B-A)	△40	△21	△21	△11	—
増減率 (%)	△3.7	△8.4	△8.3	△7.5	—
(ご参考)前期実績 (平成20年2月期)	854	251	252	147	8,984.70

#### 2. 業績予想修正の理由

米国に端を発する世界的な金融危機による株価の下落や不安定な為替市場、及び原油をはじめとする資源価格の乱高下に伴う国内物価への影響により国内消費は停滞し、景気の動向は依然不透明な状況が継続しております。

このような状況の中、当第3四半期におきましては、改正特定電子メール法セミナーの開催や、メール送信に対する受信者の同意を証する記録を自動で当社サービス内に保管する「オプトイン記録保管サービス」の提供を開始するなど、サービスの機能強化に積極的に取り組み、付加価値の向上に努めて参りました。

しかしながら、別途注力した新市場開拓施策が振るわず、同時に、早期実現を目指した新入社員戦力化の遅れ、組織規模拡大に伴うマネジメント体制整備の難航等でアカウントの獲得が鈍化いたしました。また、景気悪化に伴うお客様の倒産や事業縮小、販促コストの見直し等の影響により、想定以上の解約が発生し、大幅に有効アカウント数が伸び悩む結果となり、平成20年4月10日に公表いたしました第9期（平成21年2月期）の業績予想より下回る見込みとなりました。

以上を踏まえ業績予想の見直しを行った結果、第9期（平成21年2月期）通期の見通しにつきまして

は、平成20年4月10日に公表いたしました業績予想を修正することにいたしました。

また、平成20年4月10日に公表いたしました有効アカウント数の当期末残高の目標1,500件を1,330件に修正することにいたしました。

(注) 上記の業績予想は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上